

アジア太平洋協力会議（SPEC2001） 「アジア地域のエネルギー安全保障」

常務理事 藤目和哉

第16回 アジア太平洋協力会議（SPEC2001）は2001年2月20日（火）・21日（水）にホテルオークラで開催された。プログラムは以下の通りであった。内容については本文（総括報告）を参照されたい。

第1日 2月20日（火）

基調講演

議長：十市 勉

（（財）日本エネルギー経済研究所 常務理事 / 日本）

ビジャン・ナムダー・ザンガネ

（イラン石油省大臣 / イラン）

「アジア太平洋地域の増大する石油・ガス需要への供給について」

フィル・ワッツ

ロイヤル・ダッチ / シェルグループ 最高幹部役員 / 英国）

「信頼に支えられたエネルギー安全保障

-21世紀のアジアのエネルギーニュースへの対応」

第1セッション

「アジアにおけるエネルギー安全保障と天然ガス」

議長：大橋 忠彦

（東京ガス（株）首席エクゼクティブ・スペシャリスト / 日本）

・天然ガス需要の拡大と供給体制

アレクセイ・ミハイロビッチ・マスティパーノフ

（ロシア連邦エネルギー省 エネルギー政策企画局長 / ロシア）

・日本における天然ガス市場の変化とLNG価格について

有本 雄美

（大阪ガス（株）取締役副社長 / 日本）

・欧州における天然ガスマーケットの将来

ディディエール・シレエ

（ガス・ド・フランス 経営戦略部長 / フランス）

・欧州における天然ガス政策の展開と展望

クリストバル・ブルゴス・アロンソ

（欧州委員会 エネルギー・運輸総局、在来型エネルギー局ガス担当部長）

第2セッション

「アジアにおけるエネルギー安全保障と石炭利用」

議長：今泉 烈

(三井物産(株) 専務取締役/日本)

- ・アジアにおけるエネルギー安全保障と石炭利用

徐 錠明

(中国国家発展計画委員会 産業発展司 局長/中国)

- ・石炭利用の拡大の可能性とその条件

スン・チュン

(米国エネルギー省 国際化石エネルギーグループ上級アドバイザー
APEC クリーン化石エネルギー専門家グループ議長/米国)

- ・京都メカニズムと石炭利用拡大の可能性

工藤 拓毅

((財)日本エネルギー経済研究所 第二研究部
環境グループマネージャー/日本)

第2日 2月21日(水)

第3セッション

「アジアにおける原子力発電の役割と展望」

議長：鈴木 達治郎

((財)電力中央研究所 社会経済研究所 上席研究員/日本)

- ・アジアの原子力発電とエネルギー安全保障に果たす役割

崔 洋祐

(韓国電力公社 シニアバイスプレジデント/韓国)

- ・アジアにおける原子力発電と放射性廃棄物の処理

ジェラルド・クラーク

(前英国ウラン研究所 所長/英国)

- ・原子力の安全性と社会的リスクについて

前田 肇

(関西電力(株) 取締役副社長/日本)

第4セッション

「技術革新に向けて」

議長： 田中 正昭

(電源開発(株) 取締役/日本)

- ・ガス体エネルギー革命とガス利用技術について

サミュエル・バーンスタイン

(エナジー・インターナショナル社 社長/米国)

- ・クリーンコール・テクノロジーについて

田邊 利男

(新エネルギー・産業技術総合開発機構 クリーンコール
テクノロジーセンター 所長/日本)

パネルディスカッション

「アジアにおけるエネルギー安全保障」

アジアのマーケットにおけるアジア諸国の将来のイニシアティブについて

議長： 末次 克彦

(アジア・太平洋エネルギーフォーラム 代表幹事/日本)

- ・R・K・パチャウリ

(タタエネルギー研究所 所長/インド)

- ・張 鉉俊

(韓国エネルギー経済研究院 院長/韓国)

- ・アーマド・ニザム・サレー

(ペトロナス 原油グループ シニアゼナラルマネージャー/マレーシア)

- ・坂本 吉弘

((財)日本エネルギー経済研究所 理事長/日本)